

Jアラートを活用した緊急情報が発信された際の対応について

現下の国際情勢に鑑み、万が一、ミサイルが発射され、栃木県内への影響が予想される場合には、国から、ミサイル発射情報や屋内避難の呼びかけ等の緊急情報がJアラート（全国瞬時警報システム）により伝達され、その情報が携帯電話・スマートフォンの緊急速報メールや市町の防災行政無線屋外スピーカーを通じて伝達されますので、落ち着いて直ちに以下の行動をとってください。また、これらの緊急情報にあわせて、テレビ、ラジオの報道情報等にも注意してください。

緊急情報メールや防災行政無線で緊急情報が伝達された場合の行動

屋外にいる場合

- 近くのできるだけ建物の中、又は地下に避難する。
- 適当な建物がない場合、物陰に身を隠すなど身を守れる場所を確保する。
- それも難しい場合、地面に伏せて頭部を守る。
（近くにミサイルが落下したとき）
- 口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。

屋内にいる場合

- 窓から離れる。窓から遠い場所へ移動する。できれば窓のない部屋、地下等に避難する。
- 机の下等に身を伏せる等して頭部を守る。
（近くにミサイルが落下したとき）
- 換気扇、エアコンを止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する

車内にいる場合

- 車は燃料のガソリン等に引火する可能性があるため、車を止めて頑丈な建物や地下（地下街、地下駅舎等の地下施設）に避難する。周囲に避難できる頑丈な建物や地下施設がない場合、車から離れて地面に伏せ、頭部を守る。
- 高速道路を通行している時等、車から出ると危険な場合には、車を安全な場所に止め、車内で姿勢を低くして、行政からの指示があるまで待機する。

内閣官房国民保護ポータルサイト

- 内閣官房国民保護ポータルサイト

<http://www.kokuminhogo.go.jp/pc-index.html>

- 武力攻撃やテロなどから身を守るために（内閣官房パンフレット）

http://www.kokuminhogo.go.jp/pdf/hogo_manual.pdf

- 弾道ミサイル落下時の行動について（その1）

<http://www.kokuminhogo.go.jp/pdf/290421koudou1.pdf>

- 弾道ミサイル落下時の行動について（その2）

<http://www.kokuminhogo.go.jp/pdf/290421koudou2.pdf>

- 弾道ミサイル落下時の行動に関するQ & A

<http://www.kokuminhogo.go.jp/pdf/290421koudou3.pdf>

関連情報

- 緊急速報メールを受信できるかの確認方法と受信できない場合の対策（総務省消防庁）

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h29/05/290511_houdou_1-1.pdf